

函館市環境白書

2020(令和2)年度版



函 館 市

表紙写真

【路面電車での海洋プラスチックごみ対策PR】

函館市では、本年10月の1か月間プラスチックごみ削減キャンペーンと併せ、公共交通である路面電車や路線バスへ海洋プラスチックごみ対策の広告を掲載することにより当該問題への意識啓発を図りました。

海洋プラスチックごみ問題は地球規模の環境問題ですが、私たち一人ひとりがプラスチックを有効に、賢く利用することで海のプラスチックごみも減らすことができるはずです。

なお、環境省では今年度、国内における海洋ごみの発生抑制対策の一層の推進を図ることを目的としたモデル事業5事業を選定しましたが、本市の広告掲載事業はその中のひとつとして選定されました。

今後、啓発効果について検証が行われ、得られた成果・知見等を踏まえ、全国各地域への横展開を効果的に行うためのガイドラインが策定される予定となっています。

2020（令和2）年度版函館市環境白書の発行にあたって



近年の環境を取り巻く世界の動向を見ると、2015（平成27）年に持続可能な開発目標（SDGs）を掲げる「持続可能な開発のための2030アジェンダ」や地球温暖化対策の新たな枠組みとしての「パリ協定」が採択されたほか、気候変動、海洋プラスチックごみ問題、食品ロス、生物多様性の損失など、地球規模での環境問題に対する国際的な取組が活発化してきています。

国内ではこうした国際的な動向を踏まえ、様々な取組を展開していくこととしており、関連法を整備するとともに各種計画等を策定しながら、各分野の施策を推進していこうとしています。

環境にかかわる問題のほとんどが人々の生活や社会経済活動によるものとされていますが、私たちの暮らしが美しく豊かな環境のもとに成り立っていることを強く認識する必要がありますとともに、将来の世代に豊かな環境を守り、引き継いでいくことは、私たちの重要な責務です。そのために必要となる持続可能な社会の実現をめざして、地球温暖化対策や自然保護、廃棄物の発生抑制など、一人ひとりが環境に関する認識を深め、環境に配慮した行動を実践していくことが極めて重要です。

本市は、1999（平成11）年度に「函館市環境基本条例」と「函館市環境基本計画」を定め、2009（平成21）年度に「函館市環境基本計画[第2次計画]」、2019（令和元）年度には近年の環境の動向などを踏まえた「函館市環境基本計画[第3次計画]」を策定し、総合的かつ計画的に様々な環境保全施策を推進しています。

また、2010（平成22）年度に「函館市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、市民・市民団体、事業者、市が連携する実行組織「函館市地球温暖化対策地域推進協議会」を設置して、具体的な対策を進めるとともに、2015（平成27）年度には、「第3次函館市一般廃棄物処理基本計画」を策定し、廃棄物の面からも循環型社会の実現に取り組むなど、今後も、環境保全施策を着実に推進するための体制を整えながら、より良い環境づくりに取り組んでまいります。

この白書は、函館市環境基本条例に基づく年次報告として、市内の環境の現況や市の施策の実施状況を中心に取りまとめて発行するもので、皆様が環境への関心と理解を深め、具体的に環境保全に取り組んでいくための一助となれば幸いです。

2020（令和2）年11月

函館市長 工藤 壽樹

【目次】

第1章 函館市の概況	
1. 位置・地勢・気象	1
2. 人口	2
3. 土地利用	2
4. 都市計画	2
5. 産業	3
6. 交通	4
7. 上下水道	5
第2章 函館市の環境行政	
1. 我が国における環境問題の変遷	6
2. 本市における環境行政	6
(1) 環境基本条例	6
(2) 環境基本計画	7
(3) 個別計画	7
第3章 環境の状況	
1. 地球環境	9
(1) 地球温暖化	9
(2) 酸性雨, オゾン層の破壊, 森林破壊	9
(3) 海洋汚染	10
(4) 生物多様性	11
2. 大気	12
(1) 大気の状態	12
(2) 工場等の状態	17
(3) 苦情処理の状態	18
(4) 道路整備などの状態	19
(5) 悪臭の状態	19
3. 水	20
(1) 水質の状態	20
(2) 土壌汚染	25
(3) 工場等の状態	25
(4) 苦情処理および油流出事故の状態	26
(5) 下水道整備などの状態	26
4. 騒音・振動	28
(1) 騒音・振動の状態	28
(2) 工場等の状態	29
(3) 苦情処理の状態	30
5. 化学物質など	30
(1) ダイオキシン類	30
(2) PRTR制度	31
(3) 電磁波等	32
(4) 放射性物質	32
6. 自然	35
(1) 動植物の状態	35
(2) 動植物の生息・生育環境の状態	36
(3) 自然保護活動の状態	37
7. 自然とのふれあいの場	37
(1) 公園・緑地の状態	37
(2) 水辺空間の状態	39
(3) ふれあい活動の状態	39
8. 景観	39
(1) 景観形成の状態	40
(2) 夜景の保全の状態	40
(3) 環境美化の状態	41
9. 廃棄物	42
(1) 一般廃棄物の状態	42
(2) 産業廃棄物の状態	44

(3) 不法投棄の状況	45
(4) し尿処理の状況	45
(5) 資源循環に向けた活動の状況	45
10. エネルギーの有効活用	46
(1) エネルギー消費の状況	46
(2) 新エネルギーの導入状況	46
(3) 公共交通の利用状況	48
11. 環境保全意識	48
12. 環境保全活動への取り組み	50

第4章 環境基本計画の推進

1. 推進体制の整備	51
2. 2020(令和2)年度環境保全施策	52
(1) 地球環境の保全	52
① 地球温暖化対策	
(2) 循環型社会の形成	53
① 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進	
② 廃棄物の適正処理	
③ プラスチックごみ対策	
(3) 自然との共生社会の実現	54
① 生物多様性の保全	
② 水や緑の活用・ふれあいの推進	
③ 良好な景観形成の推進	
(4) 生活環境の保全	57
① 大気・水環境の保全	
② 音環境の保全	
③ 化学物質などへの対策	
(5) 総合的な取組の推進	59
① 地域づくり・人づくり	
② 環境情報の充実と共有	

第5章 環境基本計画の進捗状況

1. 環境目標の達成状況	61
(1) 客観的データ項目の達成状況	61
(2) 環境モニター定期アンケート調査結果	62
(3) まとめ	65
2. 環境基本計画の進行管理	65
3. 個別計画等	72
(1) 環境配慮率先行動計画(Ⅳ)の進捗状況	72
(2) 公共事業環境配慮指針(Ⅳ)に基づく実施状況	76
(3) イベント開催における環境配慮	80
(4) 環境影響評価制度	81

第6章 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の推進

1. 函館市の温室効果ガスの排出状況	82
(1) 温室効果ガスの削減目標	82
(2) 温室効果ガス排出量の推移	82
(3) 温室効果ガスの排出状況(速報値)	83
2. 温室効果ガス削減に向けた施策(アクションプラン)	85

資料編

1. 函館市環境モニター制度	90
2. 環境保全に関する支援制度など	93
3. 環境関連業務の担当課	95
4. 環境基準および規制基準	96
5. 函館市内の公園, 緑地等	107
6. 用語解説	108
7. 関係条例	112

